

## 平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 ローランド ディー・ジー株式会社  
 コード番号 6789 URL <http://www.rolanddg.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤岡 秀則  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 上井 敏治  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 053-484-1400

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	31,799	3.4	2,571	28.3	2,541	22.1	849	61.8
28年12月期第3四半期	32,928		3,587		3,262		2,226	

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 1,109百万円 (29.5%) 28年12月期第3四半期 857百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	67.84	
28年12月期第3四半期	167.63	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	36,021	21,074	58.5	1,682.75
28年12月期	36,341	20,617	56.7	1,647.59

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 21,073百万円 28年12月期 20,617百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		30.00		30.00	60.00
29年12月期		25.00			
29年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,300	0.4	3,700	15.1	3,500	14.7	1,100	59.3	87.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	12,656,311 株	28年12月期	12,656,311 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	132,795 株	28年12月期	142,595 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	12,519,805 株	28年12月期3Q	13,280,471 株

(注) 平成29年12月期第3四半期及び平成28年12月期の期末自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOP信託が保有する当社株式数がそれぞれ132,600株、142,400株含まれております。また、平成29年12月期第3四半期及び平成28年12月期第3四半期の期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOP信託が保有する当社株式数がそれぞれ136,311株、143,000株含まれております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年1月1日から平成29年9月30日まで)における世界経済は、米国や欧州、日本等の先進国では、総じて緩やかな回復基調が続き、中国やブラジル、ロシア等の新興国でも景気の持ち直しの動きがみられました。しかしながら、各地における地政学的リスクの高まりや、英国の欧州連合(EU)離脱問題、米新政権の政策運営等、さまざまな景気下振れリスクを抱えながら、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループでは、平成28年度を初年度とする5ヶ年の中期経営計画を策定し、前期より取り組んでいます。この中期経営計画では、「GrowthOne(グロースワン) イノベーションによる持続的成長」を基本方針に掲げ、①成長分野の事業化の加速、②ソリューションプロバイダへの転身、③イノベーション集団への転身、という3つの重点課題にグループ一体となってチャレンジしていくことで、高付加価値市場を創出し、持続的な成長を目指してまいります。

当第3四半期は、3Dものづくり市場向けの3次元切削加工機やデンタル(歯科医療)市場向け加工機等、当社グループの3D事業を担うため当期の4月に営業を開始した「DGSHAPE(ディージーシェイプ)株式会社」が、デンタル市場を焦点に3D事業の拡大に向けた活動を推進しております。一方、プリンターにおいては、これまでの主力市場であるサイン(広告・看板製作)市場に加えオリジナルグッズ等の製作を行うリテイル市場の開拓に注力いたしました。また、激化する競争環境に対応するため、価格競争力の向上や各地域での積極的なプロモーション活動等、プリンターの販売回復に取り組んでおります。

このように、中期経営計画の重点課題の一つである「成長分野の事業化の加速」を推進すべく積極的な事業活動を行った結果、当第3四半期は、工作機器の販売が前年同期を上回りました。加えて、為替の円安効果があったものの、プリンターの販売が大きく減少したことにより、当第3四半期の売上高は前年同期比3.4%減の317億99百万円となりました。売上原価率は、販売単価の下落や利益率が比較的高い機種の販売が減少したこと等により、前年同期に比べ1.9%上昇しました。販売費及び一般管理費は、前年同期比で微減となりましたが、売上高に対する比率は前年同期に比べ0.9%上昇しました。これらの結果、営業利益は、前年同期比28.3%減の25億71百万円となり、経常利益は、前年同期比22.1%減の25億41百万円となりました。また、米国特許権侵害訴訟の和解金を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億49百万円となりました。

なお、当第3四半期における主要通貨の為替レート(平成29年1月～9月の平均レート)は、111.93円/米ドル(前年同期108.72円)、124.59円/ユーロ(前年同期121.24円)でした。

当社及び連結子会社の事業は、コンピュータ周辺機器の製造販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、単一セグメントとなっております。なお、品目別の売上高は、以下の通りであります。

品目別売上高

品目	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (%)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
プリンター	13,281	40.3	11,549	36.3	△1,732	△4.0	87.0
プロッタ	993	3.0	1,059	3.3	66	0.3	106.7
工作機器	3,091	9.4	3,518	11.1	426	1.7	113.8
サプライ	10,232	31.1	10,241	32.2	8	1.1	100.1
その他	5,328	16.2	5,430	17.1	102	0.9	101.9
合計	32,928	100.0	31,799	100.0	△1,128	—	96.6

[プリンター]

従来からの主力市場であるサイン(広告・看板製作)市場では、市場が成熟化傾向であることを受け、高付加価値製品や良質なサービス・サポートの提供により、顧客満足度を向上させていくことで市場シェアの維持・拡大を図っております。また、今後の成長分野として、スマートフォンケースや家電製品、ノベルティ等に写真やイラストを印刷してオリジナルグッズ製作を行うリテイル市場等、“新しい印刷市場”の開拓に積極的に取り組んでおります。

当期間は、サイン市場では、市場の成熟化に加えて大手参入による競争環境の激化を背景に、高価格から低価格へ市場ニーズの変化が続いており、高価格帯機種を中心に販売が低迷しました。しかしながら、前期に市場投入した低溶剤系プリンターの新世代モデルTrueVIS(トゥルービズ)シリーズ「VG-640/540」及び「SG-540/300」の販売は堅調に推移しました。なかでも前期の9月に発売開始した「SG-540/300」は、プリント&カット機のエントリーモデルとして、その印刷品質だけでなく、導入しやすい価格が初期投資を抑えたいお客様のニーズを捉え、販売を伸ばしております。

一方、リテイル市場においては、当期の2月に発売した小型UVプリンターの新製品「LEF-200」は堅調だったものの、既存モデルの販売減少が影響し、UVプリンター全体の売上が減少しました。引き続き、小売店舗でのオリジナルグッズ製作用途をリテイル市場としてその開拓を欧州から世界各地域に横展開することに加え、今後はソフトウェアやサービス等により顧客に付加価値を提供するトータルソリューションを強化し、リテイル市場における一層のビジネス拡大を目指してまいります。

このように、サイン市場向けプリンターやリテイル市場向け小型UVプリンターの販売が減少したことで、プリンターの売上高は115億49百万円(前年同期比87.0%)となりました。

[プロッタ]

当期の3月から4月にかけて発売した新製品「GR-640/540/420」を含むサイン市場向けのカッティングマシンの販売が堅調に推移し、売上高10億59百万円(前年同期比106.7%)となりました。

[工作機器]

3Dものづくり市場では、前期の10月に発売した3次元切削加工機の新製品「MDX-50」が、製造業での試作用途や教育機関等で導入され、好調な販売を持続しました。デンタル市場では、当期の3月に発売した、加工機材を自動交換するオートディスクチェンジャー機能搭載のデンタル加工機の新製品「DWX-52DC」が、日本、欧米等の先進国において生産性を求める歯科技工所に受け入れられ、好調に推移しました。

また、当期の4月には、子会社のDGSHAPE株式会社が3Dものづくりやデンタル等の3D事業を新たなブランドでスタートしました。DGSHAPE株式会社では、当社が培ってきたデジタル技術やものづくりのノウハウを活かして、デジタル化の新たな潮流に対応したソリューションの提供を目指しています。製造業や彫刻業、教育機関等の3Dものづくり市場を基盤に、デジタル化の進展が見込めるデンタル市場の成長を加速させると共に、さらにより広い領域で新たな価値提案を創出することで3D事業の拡大を図ってまいります。

このように、当期間では、3次元切削加工機とデンタル加工機の新製品が売上に寄与したことにより、工作機器の売上高は35億18百万円(前年同期比113.8%)となりました。

[サプライ]

サイン市場向けプリンターのインクが伸び悩みましたが、UVプリンターやテキスタイル用プリンターのインクが伸長し、サプライの売上高は102億41百万円(前年同期比100.1%)となりました。

[その他]

保守やサービスパーツ等のその他売上については、サービスパーツの売上が堅調に推移し、売上高は54億30百万円(前年同期比101.9%)となりました。

地域別の売上高は、以下の通りであります。

地域別売上高

地域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (%)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
日本	3,981	12.1	3,706	11.7	△275	△0.4	93.1
北米	9,384	28.5	9,089	28.6	△294	0.1	96.9
欧州	11,292	34.3	11,293	35.5	0	1.2	100.0
アジア	2,943	8.9	2,519	7.9	△423	△1.0	85.6
その他	5,326	16.2	5,191	16.3	△134	0.1	97.5
合計	32,928	100.0	31,799	100.0	△1,128	—	96.6

[日 本]

プリンターでは、印刷幅30インチから54インチのUVプリンターがパッケージ試作用途で大きく増加しましたが、リテイル市場向けの小型UVプリンターやサイン市場向けプリンターの高価格帯機種を中心に減少しました。工作機器では、3次元切削加工機の新製品「MDX-50」が製造業での試作用途や教育機関等で好調に推移し、MDXシリーズは前年を大きく上回りました。デンタル加工機は、新製品「DWX-52DC」の販売が順調に推移しましたが、既存機種の販売が伸び悩み、DWXシリーズは前年同期を下回りました。

これらの結果、日本の売上高は37億6百万円(前年同期比93.1%)となりました。

[北 米]

工作機器では、デンタル加工機の新製品「DWX-52DC」が、主に生産性を求める中規模クラスの歯科技工所に向けて好調な販売となりました。また、3次元切削加工機の新製品「MDX-50」は、デザイン試作等の用途で好調に推移しました。一方、プリンターでは、小型UVプリンターの「LEF-300」とサイン市場向けプリンターの「SG-540/300」の販売が拡大したものの、高価格帯機種が前年同期を下回りました。

これらの結果、北米の売上高は90億89百万円(前年同期比96.9%)となりました。

[欧 州]

プリンターでは、サイン市場向けプリンターや小型UVプリンター等の主力機種が減少しましたが、工作機器では、デンタル加工機の新製品「DWX-52DC」が好調に推移すると共に、3次元切削加工機や金属素材に写真やイラスト、文字等をマーキングできるメタルプリンターの販売が増加しました。

これらの結果、欧州の売上高は112億93百万円(前年同期比100.0%)となりました。

[ア ジ ア]

中国では、プリンターや工作機器等の製品販売は堅調に推移しましたが、サービスパーツの売上が大きく減少しました。韓国では、新たな販売チャネルを開拓したことでデンタル加工機が増加したものの、小型UVプリンターとテキスタイル用プリンターの販売が減少しました。ASEAN地域では、売上構成比の大きいサイン市場向けプリンターが前年同期に比べ減少しました。

これらの結果、アジアの売上高は25億19百万円(前年同期比85.6%)となりました。

[そ の 他]

オーストラリアでは、3次元切削加工機の販売が好調に推移し、ブラジルを含む南米では、小型UVプリンターやデンタル加工機の販売が大きく増加しました。一方、アフリカ地域においては、プリンターの販売が大きく落ち込みました。

これらの結果、その他地域の売上高は51億91百万円(前年同期比97.5%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億19百万円減少し、360億21百万円(前連結会計年度末比99.1%)となりました。流動資産では、商品及び製品が7億88百万円、未収入金等のその他が6億45百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が16億77百万円減少いたしました。固定資産では、特に大きな変動はありませんでした。

当第3四半期末の負債は、7億75百万円減少し、149億47百万円(前連結会計年度末比95.1%)となりました。流動負債では、未払法人税等が1億80百万円増加した一方で、固定負債では、長期借入金が返済により10億80百万円減少いたしました。

当第3四半期末の純資産は、4億56百万円増加し、210億74百万円(前連結会計年度末比102.2%)となりました。前連結会計年度末に対し当期の業績等により利益剰余金が1億53百万円増加し、また、円安となったこと等により為替換算調整勘定が1億87百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期連結業績につきましては、平成29年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,003,132	8,325,480
受取手形及び売掛金	4,919,547	4,782,263
商品及び製品	5,900,492	6,689,395
仕掛品	76,976	64,804
原材料及び貯蔵品	2,391,214	2,263,690
繰延税金資産	1,080,446	1,509,732
その他	1,334,151	1,979,816
貸倒引当金	△53,872	△70,878
流動資産合計	25,652,088	25,544,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,928,375	7,008,901
減価償却累計額	△4,054,575	△4,279,897
建物及び構築物(純額)	2,873,800	2,729,004
機械装置及び運搬具	1,053,186	1,069,793
減価償却累計額	△711,924	△747,508
機械装置及び運搬具(純額)	341,262	322,285
工具、器具及び備品	3,620,466	3,689,925
減価償却累計額	△2,906,050	△2,946,718
工具、器具及び備品(純額)	714,416	743,207
土地	3,107,278	3,121,767
建設仮勘定	21,061	33,143
有形固定資産合計	7,057,818	6,949,408
無形固定資産		
のれん	410,076	385,581
ソフトウェア	1,376,535	1,290,730
電話加入権	12,162	10,874
無形固定資産合計	1,798,774	1,687,187
投資その他の資産		
投資有価証券	33,784	24,426
繰延税金資産	789,882	894,398
その他	1,032,222	941,083
貸倒引当金	△23,224	△18,990
投資その他の資産合計	1,832,664	1,840,917
固定資産合計	10,689,258	10,477,513
資産合計	36,341,346	36,021,817



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,923,210	2,000,078
短期借入金	—	111,540
1年内返済予定の長期借入金	1,440,000	1,440,000
未払法人税等	246,996	427,746
賞与引当金	716,485	877,492
役員賞与引当金	80,000	—
製品保証引当金	552,306	558,375
その他	3,301,061	3,170,319
流動負債合計	8,260,061	8,585,552
固定負債		
長期借入金	4,680,000	3,600,000
従業員株式給付引当金	91,256	100,339
役員株式給付引当金	223,132	252,598
退職給付に係る負債	960,630	962,466
長期未払金	117,622	115,931
その他	1,391,075	1,330,896
固定負債合計	7,463,716	6,362,232
負債合計	15,723,778	14,947,784
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,668,700	3,668,700
資本剰余金	3,700,608	3,700,608
利益剰余金	14,808,134	14,961,363
自己株式	△623,301	△580,436
株主資本合計	21,554,142	21,750,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,056	3,107
為替換算調整勘定	△466,234	△279,074
退職給付に係る調整累計額	△473,444	△400,297
その他の包括利益累計額合計	△936,622	△676,264
非支配株主持分	48	61
純資産合計	20,617,567	21,074,032
負債純資産合計	36,341,346	36,021,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	32,928,349	31,799,993
売上原価	17,657,120	17,655,919
売上総利益	15,271,228	14,144,073
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	681,514	705,514
広告宣伝費及び販売促進費	852,859	800,387
貸倒引当金繰入額	—	17,419
製品保証引当金繰入額	124,947	58,049
給料及び賞与	5,471,270	5,575,342
賞与引当金繰入額	508,911	508,156
役員賞与引当金繰入額	60,000	—
従業員株式給付引当金繰入額	17,904	7,814
役員株式給付引当金繰入額	54,406	65,103
退職給付費用	243,540	284,050
旅費及び交通費	570,010	480,088
減価償却費	615,950	566,960
支払手数料	905,813	894,318
その他	1,576,720	1,609,519
販売費及び一般管理費合計	11,683,849	11,572,727
営業利益	3,587,379	2,571,346
営業外収益		
受取利息	11,180	12,775
金銭の信託評価益	27,185	45,120
為替差益	—	7,873
その他	38,682	42,063
営業外収益合計	77,047	107,832
営業外費用		
支払利息	28,805	14,998
売上割引	126,684	118,896
為替差損	232,976	—
その他	13,052	3,913
営業外費用合計	401,518	137,807
経常利益	3,262,908	2,541,371
特別利益		
固定資産売却益	7,713	9,465
特別利益合計	7,713	9,465
特別損失		
固定資産除売却損	9,923	12,593
和解金	—	1,381,457
特別損失合計	9,923	1,394,051
税金等調整前四半期純利益	3,260,698	1,156,785
法人税、住民税及び事業税	861,446	854,380
法人税等調整額	173,018	△546,919
法人税等合計	1,034,465	307,460
四半期純利益	2,226,233	849,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,226,216	849,315

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,226,233	849,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,560	51
為替換算調整勘定	△1,388,529	187,163
退職給付に係る調整額	21,943	73,147
その他の包括利益合計	△1,369,146	260,361
四半期包括利益	857,087	1,109,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	857,082	1,109,672
非支配株主に係る四半期包括利益	4	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。